



Japan to provide \$7.2M to Cambodia for high-tech urban planning

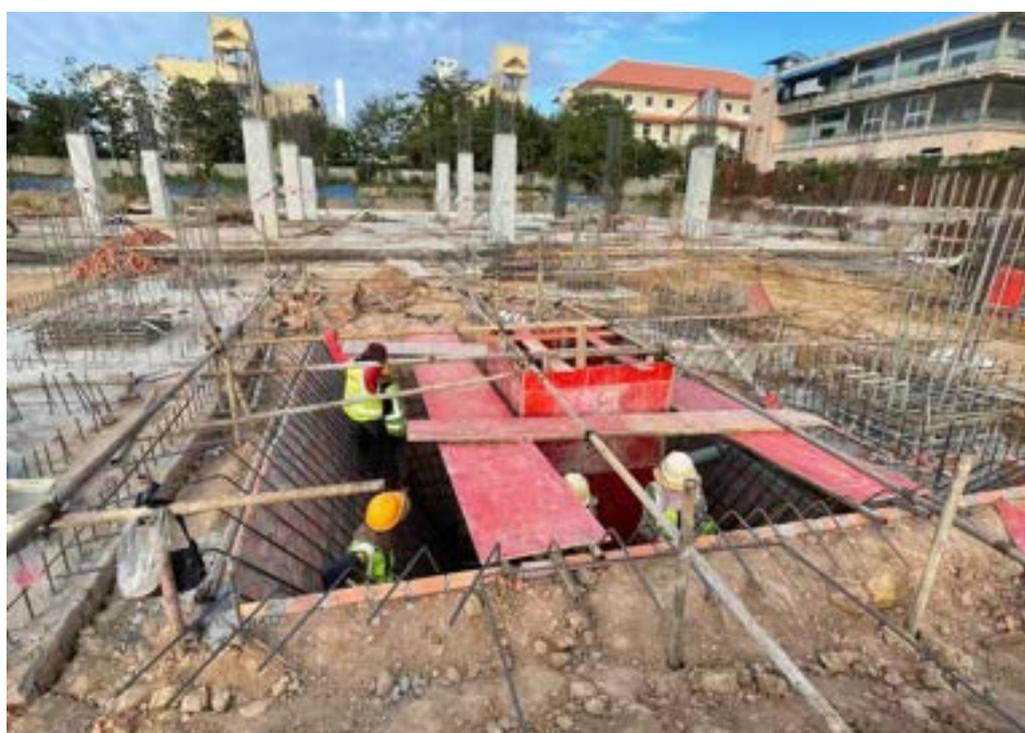
Japan will provide \$7.2 million in aid to Cambodia to support high-tech urban planning through the development of a digital platform for better infrastructure management. This initiative aims to enhance urban sustainability and help manage rapid urbanization in Cambodia's cities.



GOLDEN CAMBODIA CENTURY

GC Orussey Market 12月 建設進捗報告

2024年が成功裏に幕を閉じ、私たちは建設プロジェクトの着実な進展を振り返っています。2025年にはさらに大きな成果と進歩を遂げることを期待しています！







La Vista One 12月 建設進捗報告

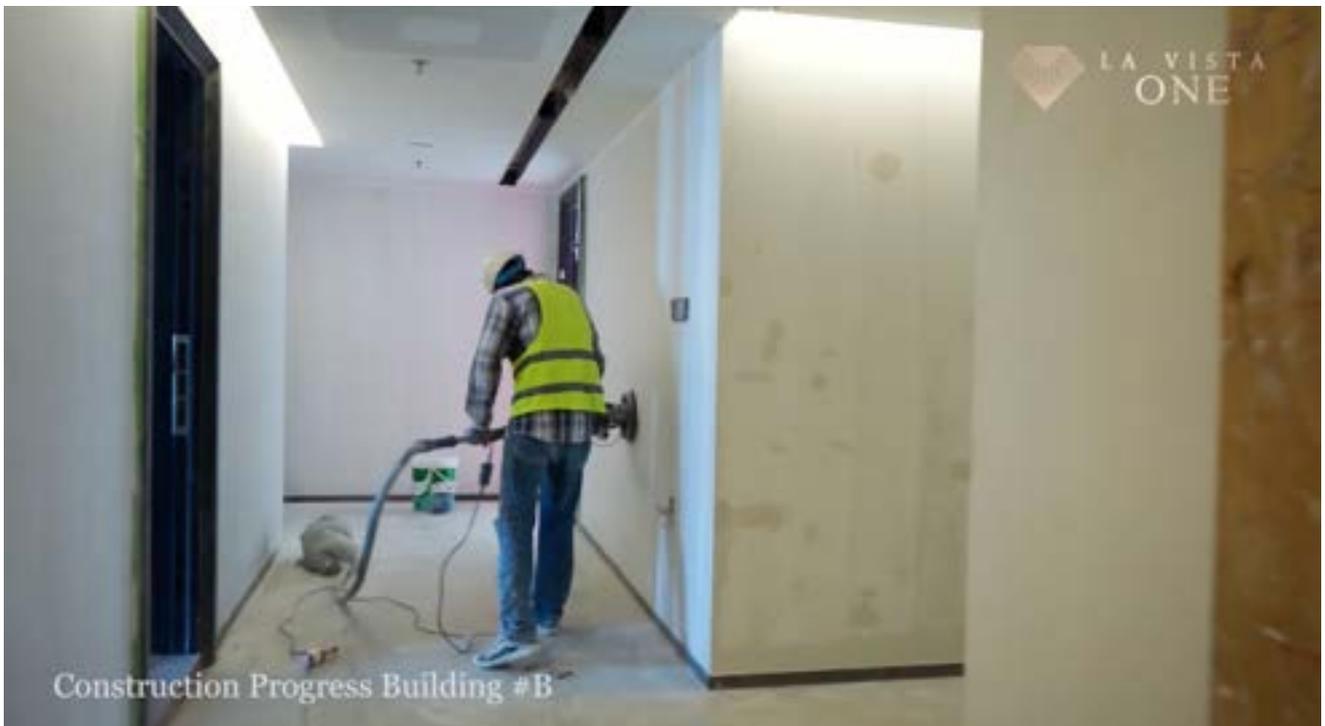


A棟

- 7～41階 外壁塗装工事：100%完了いたしました。
- T1/T3エレベーターの設置：設置が完了しております。
- 7～41階 バルコニーガラス手すり設置工事：95%完了いたしました。
- 7～41階 窓の設置工事：100%完了いたしました。
- 27階 モデルルーム内装工事：100%完了いたしました。
- 42階 カーテンウォール設置工事：100%完了いたしました。

B棟

- 7～41階 外壁塗装工事：100%完了いたしました。
- 9～38階 消防設備設置工事：100%完了いたしました。
- 7～41階 引き戸設置工事：100%完了いたしました。
- 9～38階 エアコン設置工事：100%完了いたしました。
- 8～38階 タイル張り工事：100%完了いたしました。
- 9～25階 玄関扉設置工事：現在95%完了しております。
- 9～21階 キャビネット設置工事：現在95%完了しております。





CAMBODIA

LATEST INFORMATION

2024 12 30

カンボジア、観光客向けeビザ料金を値下げ



カンボジア王国政府は、2025年1月1日より、観光客、出張者、一般市民を対象としたeビザ料金を引き下げることを見越して決定しました。この変更は、カンボジア政府の統合エコシステム内におけるeビザおよびeアライバルビザの発給手続きをより効率的に改善するため、関連する省庁および機関の協力のもと実施されるものです。

出典：[Cambodia reduces e-visa fees for tourists](#)

2024 12 27

カンボジアの銀行金融機関、2024年1～10月の与信成長率2.2%を記録



カンボジアの銀行および金融機関における2024年1月から10月までの貸出残高は、前年同期比2.2%増の609億ドルに達し、緩やかな増加傾向を示しました。この成長は、主に卸売・小売業、建設、不動産、農業、製造業、ホテル、レストランなど、主要な経済セクターへの貸出が牽引したものです。

出典：[Cambodia's banking financial institutions record 2.2 pct credit growth in first 10 months of 2024](#)

2024 12 27

日本、カンボジアのハイテク都市計画に720万ドルを供与



カンボジアと日本は、カンボジア国土管理・都市計画・建設省が掲げる優先度の高い都市計画および土地管理戦略を支援するため、総額720万ドルの無償資金協力契約を締結しました。本契約に基づき、衛星画像、テーマ別地図、3D都市計画データ、地理空間プラットフォームが提供される予定です。これにより、土地紛争の解決を図るとともに、持続可能な開発の促進を目指します。

出典：[Japan to provide \\$7.2M to Kingdom for high-tech urban planning](#)

2024 12 26

カンボジア、貿易・経済・観光・投資分野でロシアとの協力拡大を模索

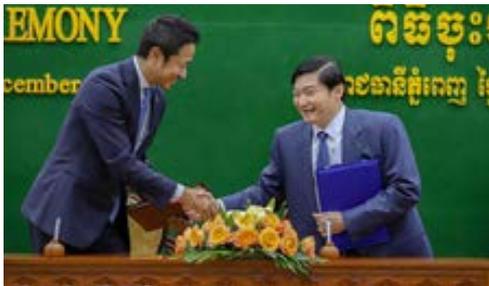


出典：[Cambodia seeks more cooperation with Russia in trade, economy, tourism and investment sectors](#)

カンボジアは、貿易、経済、観光、投資分野におけるロシアとの協力関係を一層強化するよう要請するとともに、カンボジアの人材育成を支援しているロシア政府に対し、深い感謝の意を表明しました。また、カンボジア上院のOuch Borith第一副議長は、平和、安定、そして発展を目指した両国の関係強化と協力を進めるうえで、「議会外交」の果たす重要な役割を強調しました。

2024 12 26

ホンダ、カンボジアの若者の国内外での職業訓練を支援



出典：[Honda to help train young Cambodians for domestic, foreign jobs](#)

ホンダカーズ博多は、カンボジア政府との4年間の協定に基づき、カンボジアの若手労働者にスプレー塗装技術の訓練を提供する予定です。この覚書（MoU）はプノンペンで調印され、カンボジア国内および海外での就業を目指した職業訓練の枠組みを構築することを目的としています。本プログラムには、工業技術研究所での専門的なコースが含まれており、若手労働者の技術向上と雇用機会の拡大を目指しています。

2024 12 26

経済外交を後押しする「カンボジア・フーズ・ショー」を日本で開催



出典：['Cambodia Foods Show' in Japan to boost economic diplomacy](#)

在日カンボジア大使館と日本アセアンセンターは、2025年2月21日に「カンボジア・フーズ・ショー」を開催します。このイベントは、カンボジアの経済外交戦略の一環として、食文化を通じた外交を促進し、カンボジア製品の輸出入活動を強化することを目的としています。イベントでは、料理の実演、文化的パフォーマンス、製品展示が行われるほか、カンボジア料理の魅力や観光の可能性についてのプレゼンテーションも予定されています。カンボジアの多彩な食文化と観光資源を体験できる貴重な機会となるでしょう。

2024 12 24

日本、PKO能力向上プロジェクトを支援



カンボジア・日本平和維持活動能力向上プロジェクトの一環として、カンボジアのウドン地区にある平和維持軍訓練センターで、土木技術訓練コースが開講されました。この6週間のコースでは、16人の日本人軍事教官が指導にあたり、重機の操作技術、安全対策、メンテナンス意識の向上をはじめ、女性の参画や平和・安全保障の重要性についても講義が行われます。本コースは、カンボジアの平和維持能力の強化を目的とした取り組みの一環として実施されています。

出典：[Japan supports capacity-building projects on PKO](#)

2024 12 23

経済成長を推進するカンボジアのインフラ基本計画



カンボジア王国政府は、2023年から2033年までを対象としたインフラ基本計画を策定し、2033年までにカンボジアを地域の交通と物流のハブへと変革することを目指しています。この計画には、新しい高速道路や空港の建設、高層ビルの開発、交通システムの改善などが含まれています。計画の実現には総額366億ドルという巨額の費用が見込まれていますが、政府はコネクティビティの強化、物流の課題の解消を通じて、経済成長を促進し、国民の生活の質を向上させるという目標に向け、計画を着実に進める決意を示しています。

出典：[Cambodia's infrastructure master plan to propel economic growth](#)

2024 12 20

2024年の投資プロジェクトが増加、投資資金は70億ドルに迫る



カンボジア開発評議会（CDC）会長を務めるフン・マネット首相は、平和宮殿で開催された第7回マנדート会議の議長を務めました。会議では、CDCが推進する投資プロジェクトの進展が報告され、2021年の268件から2023年には414件へと54%増加したことが明らかになりました。また、投資資本も同期間で40%増加しており、カンボジアの経済発展を支える重要な成果として評価されています。

出典：[Investment projects in 2024 increased with investment capital nearing \\$7 bil](#)

2024 12 20

カンボジアの対ASEAN貿易、2024年1～11月期は12.8%増



出典：[Cambodia's trade with ASEAN is up 12.8 pct in the first 11 months of 2024](#)

カンボジアのASEAN加盟国との貿易総額は、2024年の最初の11ヶ月間で143億ドルに達し、前年同期比で12.8%の増加を記録しました。このうち、カンボジアからASEAN諸国への輸出額は46.2億ドル、輸入額は96.8億ドルに上りました。ASEANとの貿易は、カンボジアの貿易総額全体の28%以上を占めており、同国の重要な経済関係の柱となっています。

2024 12 20

商務部、2024年に約1万件の新規企業を登録



出典：[Ministry of Commerce registers nearly 10,000 new businesses in 2024](#)

カンボジア商務省によると、2024年1月から11月にかけて、新規登録された企業・会社の数は9,530件となり、前年同期の11,506件から17%減少しました。新規登録の内訳は、資本金会社が4,725社、外国貿易会社が54社、個人事業会社が4,750社、協同組合会社が1社となっています。一方で、1,284社が登録を抹消されました。これらの統計は、国内の企業動向や経済状況の変化を反映するものとみられます。

2024 12 20

IFC、カンボジアの2030年、2050年ビジョン達成支援にコミット



出典：[IFC commits to help Cambodia achieve its vision for 2030, 2050](#)

国際金融公社（IFC）は、カンボジアの経済発展に対する強いコミットメントを改めて表明し、同国が2030年までに高中所得国、2050年までに高所得国へと成長するという目標の実現を支援することを目指しています。IFCは2000年以來、カンボジアの経済成長において重要な役割を果たしており、雇用機会の創出や所得向上、さらに貧困削減への寄与を通じて、持続可能な発展を後押ししています。

2024 12 20

水資源管理について世界銀行と協議

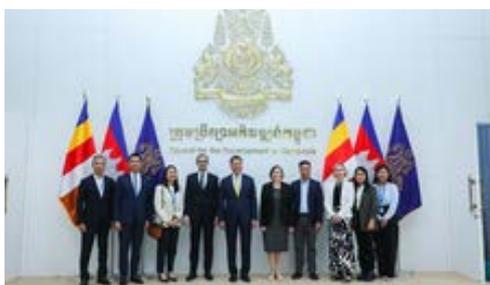


出典：[Ministry, WB discuss water resources management](#)

世界銀行カントリーマネージャーであるタニア・メイヤー氏は、カンボジアの水資源管理を通じた経済成長の促進に向けた支援を改めて表明しました。同国の大臣は、世界銀行による「カンボジア水安全保障改善プロジェクト」および「カンボジア農業セクター多様化プロジェクト」の実施における支援に対し、深い感謝の意を示しました。これらのプロジェクトは、カンボジアの持続可能な発展を支える重要な取り組みとして位置付けられています。

2024 12 19

カンボジア、多角的な産業基盤と経済強化に向けた投資誘致を重視



出典：[Cambodia continues to focus heavily on attracting investment to boost diversification of industrial base and economy](#)

カンボジア王国政府は、経済の多様化と雇用機会の拡大を目指し、優先分野への投資を重点的に進めています。カンボジア開発評議会の副首相兼第一副議長であるスン・チャントール氏は、3年間の投資促進戦略と行動計画の策定に関する会議において、この方針を強調しました。この戦略では、優先分野の明確化、投資家への包括的な支援、そして持続可能な発展を実現するための明確な価値観の定義に焦点が当てられています。

2024 12 19

マレーシアのトップがカンボジアへの投資とサラワク-プノンペン直行便を支援



出典：[Malaysian top leader supports investment in Cambodia and Sarawak-Phnom Penh direct flights](#)

マレーシアのダト・アワン・ベミー・ビン・アワン・アリ・バサ上院議長は、カンボジアの精米部門へのマレーシアからの投資およびサラワクからプノンペンへの直行便の導入を支持すると表明しました。また、マレーシアの投資家に対し、カンボジアの貿易、農業、エネルギー、教育、健康、観光といった多岐にわたる分野への投資機会を積極的に開拓するよう奨励しました。さらに、サラワクとカンボジアの関係をより一層強化し、両国間の経済成長を促進する取り組みを推進することの重要性を強調しました。

2024 12 19

テコ・クロン・タクマウ国際空港国際空港、2025年7月運用開始へ再スケジュール



建設中のテコ・クロン・タクマウ国際空港（TIA）は、正式な開港予定日が2025年7月に変更されました。総工費15億ドルをかけたこの空港は現在、工事の進捗率が92%に達しており、残りの8%については2025年3月までに完了する見込みです。この発表は、マオ・ハバナル民間航空局担当大臣が現地を視察した際に行われました。TIAは、カンボジアの航空インフラを大きく前進させる重要なプロジェクトとして期待されています。

出典：[Techo International Airport re-schedules to launch operations in July 2025](#)

2024 12 19

カンボジアとADB、今年4億300万ドル相当の6プロジェクトに調印



カンボジア王国政府とアジア開発銀行（ADB）は、2024年に前年比112.2%増となる6つのプロジェクトへの融資として、総額4億300万ドルの譲許的融資および無償資金協力協定に調印しました。これらのプロジェクトは、インフラの整備、気候変動への耐性の強化、人的資本の開発を目的としており、豊かで包括的かつ環境に優しい未来を目指すカンボジアの持続可能な発展を支援するものです。この協定は、カンボジアの経済的および社会的成長をさらに加速させるための重要な一歩となります。

出典：[Cambodia, ADB sign 6 projects worth \\$403 million this year](#)

2024 12 18

IFC、王国のインフラ融資に関心示す



国際金融公社（IFC）は、物流、再生可能エネルギー、金融といったカンボジアの優先分野への投資拡大に関心を示しています。この目的のため、IFCのリカルド・プリティ地域副総裁、タニア・メイヤー国別マネージャー、トウフィカ・ホーク駐在員がフン・マネット首相と会談し、これら分野でのさらなる事業拡大の可能性について協議しました。この会談は、カンボジアの経済発展に向けたIFCの貢献を一層強化し、持続可能な成長を促進する重要な一歩となることが期待されています。

出典：[IFC evinces interest in financing Kingdom's infrastructure](#)

2024 12 18

首相、IMF上級代表団にカンボジアの弾力的成長のための主要改革を説明



出典：[PM briefs Senior IMF delegation on Cambodia's key reforms for resilient growth](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、国際通貨基金（IMF）アジア太平洋局のクリシュナ・スリニバサン局長と会談し、持続可能な経済成長を実現するための重要な改革について意見を交わしました。これらの改革には、競争力のある投資環境の整備、国内サプライチェーンの弾力性の強化、新技術の導入を含む熟練労働者の育成への積極的な投資が含まれます。この会談は、カンボジアの長期的な経済発展を支える基盤づくりに向けた重要な一歩となるものです。

2024 12 17

王国の対ベトナム貿易が70億ドルを突破



出典：[Kingdom's trade with Vietnam crosses \\$7 billion](#)

税関総署の貿易データによると、2024年1月から11月におけるカンボジアとベトナム間の貿易総額は、前年同期比で20.6%増加し、70.8億ドルに達しました。このうち、カンボジアからベトナムへの輸出額は26.3%増の32.9億ドル、ベトナムからカンボジアへの輸入額は16%増の37.9億ドルを記録しています。この数字は、両国の貿易関係がさらに強化され、経済的結びつきが一層深まっていることを裏付けています。

2024 12 13

KIAF加盟の50社超、カンボジア投資に関心



出典：[Over 50 companies that are members of the KIAF expressed interest in investing in potential sectors in Cambodia \(VIDEO\)](#)

フン・マネットはプノンペンで、韓国産業連盟フォーラムのマーン・キ・ジョン会長および35の商社で構成される代表団と会談しました。また、50社が参加する韓国ビジネス代表団は、エンジニアリング、インフラ建設、人材開発、ヘルスケア、美容サービス、一般商業システム、メディアといった主要分野における投資機会を模索することを目的としています。この会談は、カンボジアと韓国間の経済的連携をさらに強化し、両国にとっての新たな成長機会を創出する重要な一歩となることが期待されています。

2024 12 13

産業大臣、中国代表団と技術プラットフォームと投資機会について協議



出典：[Industry Minister discusses technology platform, and investment opportunities with Chinese delegation](#)

カンボジアのヘム・バンディ産業・科学技術・イノベーション相は、中国の対カンボジア投資協会および86Links Co. Ltd.と会談し、産業および技術開発の強化ならびに中国からの投資誘致について協議しました。会談中、代表団はカンボジアの経済特区と工業団地を紹介するための新しい技術プラットフォームを発表しました。このプラットフォームは、多言語対応AIやインタラクティブ機能の特徴としており、利用者の利便性を大幅に向上させることが期待されています。ヘム・バンディ大臣は、このプラットフォームがカンボジアの経済成長やデータ管理能力の向上を支援する可能性を高く評価しました。

2024 12 13

カンボジア、2024年1～11月のゴムラテックス輸出で5億6800万ドルを稼ぐ



出典：[Cambodia earns \\$568 mln from rubber latex exports in first 11 months of 2024](#)

カンボジアの2024年1月から11月までの天然ゴムラテックスの輸出は、前年比26.7%増の収入を記録し、総額5億6,800万ドルに達しました。同期間の輸出量は34万2,010トンで、前年の33万4,177トンから2.344%増加しました。トン当たりの平均輸出価格は1,662ドルで、カンボジアの天然ゴム輸出が引き続き堅調な成長を示していることを示しています。

2024 12 11

カンボジアとサウジアラビア、コメの貿易取引に注目



出典：[Cambodia, Saudi Arabia eye rice trade deal](#)

カンボジアとサウジアラビアは、経済協力の強化と新たな貿易機会の模索を進める中で、特に農業分野における二国間関係の深化を目指しています。カンボジアのフン・セン上院議長とサウジアラビアのアブドゥラ・モハメッド・イブラヒム・アル＝シェイク協議会議長はリヤドで会談を行い、人的交流、観光、スポーツ、貿易、投資といった幅広い分野での協力の可能性について意見交換を行いました。この協議は、両国の関係をさらに強化し、地域および国際的な経済発展に寄与するものと期待されています。

2024 12 10

米企業、カンボジアに米ぬか加工工場を設立するため現地企業と提携



[出典：US company joins hands with local firm to establish rice bran processing plant in Cambodia](#)

カンボジアのStabil Nutrition LLC社と地元のAmru Rice社は、米国市場への輸出を目的とした米ぬか加工工場の建設において提携しました。このプロジェクトは、カンボジアのスン・チャントール副首相とAmru Rice社のソン・サラン社長との会談で発表されました。この投資は、カンボジアの農業価値の向上と国際市場へのさらなる進出を支える重要な取り組みとして期待されています。

2024 12 10

カンボジアの経済成長率は2024年に6%に達する



[出典：Cambodia's economy growth to reach 6 percent in 2024](#)

カンボジアのアウン・ポンモニロス副首相は、2024年の経済成長率を6%と予測し、その主な牽引役として輸出志向の部門と衣料品産業を挙げました。同副首相は、この高成長が持続可能な平和、社会秩序、安全、治安、そして政治的安定に支えられていると強調しました。また、宿泊業や観光業が引き続き成長すると予想される一方で、自動車組立や食品生産などの非衣料産業も今後さらに繁栄するとの見通しを示しました。

2024 12 10

カンボジア・トレード・エキスポ2024、世界市場と経済成長へのゲートウェイに



[出典：Cambodia Trade Expo 2024, a gateway to global markets and economic growth](#)

カンボジア商務省は、2024年12月13日から16日にかけて、「カンボジア貿易博覧会2024」(CTF)を開催します。「貿易の新時代」をテーマに掲げたこのイベントは、経済復興、世界市場への統合、競争力の強化に焦点を当て、カンボジアの貿易状況を新たに定義することを目的としています。このリブランディングは、商業的能力を世界にアピールし、カンボジアの豊かな文化遺産を祝うという商務省のビジョンと一致しています。

2024 12 09

ラオスとカンボジア、二重課税防止と貿易促進に関する協定に調印



出典：[Laos and Cambodia sign agreement to prevent double taxation, boost trade](#)

ラオスとカンボジアは、プノンペンで二国間関係と協力を強化するための3つの協定に調印しました。最初の協定は、所得に対する二重課税の排除と脱税防止を目的としたものです。カンボジアはこれまでも、日本、ミャンマー、モロッコ、UAE、フランス、カタールといった国々と二重課税防止協定（DTA）の交渉を進めています。また、今回の協定には、農業分野や文化・芸術分野での協力に関する覚書も含まれており、両国の多分野での関係強化が期待されています。

2024 12 09

日本旅行フェア2024はカンボジアと日本の観光とパートナーシップを促進する



出典：[Japan Travel Fair 2024 boosts Cambodia-Japan tourism and partnership](#)

日本政府観光局が主催する日本旅行フェアは、カンボジアで日本の文化や伝統を広めるとともに、両国間の観光分野でのつながりを一層強化することを目的としています。この2日間のイベントには、カンボジアの観光大臣のフット・ハック氏、日本国駐カンボジア大使の植野篤志氏、JNTOバンコク事務所長の中杉元氏、イオンモールセンソックGMの川上晶生氏の出席のもとで開会式が行われました。2023年にアップグレードされた戦略的パートナーシップを紹介し、日カンボジア関係のさらなる発展を目指します。

2024 12 07

ミネベアミツミ、来年プルサット州に新工場を立ち上げる（ビデオ）



出典：[MinebeaMitsumi Inc. to launch a new factory in Pursat Province next year \(VIDEO\)](#)

ミネベアミツミ株式会社は、カンボジアのプルサット州に新工場を設立し、2025年に正式な操業開始を予定しています。この新工場では、100%再生可能エネルギーを使用することで、カンボジア王室政府の再生可能エネルギー推進への取り組みを具体的に実証します。同社は2011年にカンボジア市場に進出して以来、継続的に投資を拡大してきました。カンボジアのFun Mane首相は、同国におけるミネベアミツミの成功と成長に対し、満足の意を表明するとともに、今後の更なる貢献に期待を寄せました。

2024 12 06

カンボジア、コメ輸出で17.9億ドルを獲得



出典：[Cambodia nets \\$1.79 billion from rice exports](#)

カンボジアは今年最初の11ヶ月間に、粳と精米の輸出で合計17億9000万ドルを稼ぎ出しました。この期間中、同国は67カ国に57万5562トンの精米を出荷し、これにより4億1300万ドルの収益を上げました。主要市場には中国とヨーロッパが含まれており、生産および貯蔵能力の向上に加え、米の品質基準の改善が、輸出拡大の要因となっています。

2024 12 06

KEとイオン、中小企業を後押しする「特産品フェア」を開催



出典：[KE, AEON host 'Local Products Fair' to boost SMEs](#)

ザ・クメール・エンタープライズとイオンは、カンボジアの特産品および中小企業の振興を目的とした2週間のフェアを12月1日から15日まで開催しました。このイベントは、地元産品の価値を高めるとともに、農民の生活向上を図り、国内外での新しい市場開拓を目指しています。この2週間にわたるフェアは今回で8回目の開催となり、国内市場での地元産品の振興を支援するというカンボジア王室政府の方針に沿った取り組みです。

2024 12 06

英国、日本との関係強化のためJENESYS青少年交換を開催



出典：[Kingdom hosts JENESYS youth exchange to strengthen ties with Japan](#)

日本・東アジア青少年大交流計画（JENESYS）の代表団がカンボジアを訪問し、教育、青少年、スポーツ分野の現状を視察するとともに、カンボジアの文化を学びました。この訪問は、カンボジア、東アジア、日本の青少年の長期的な関係を育むことを目的としています。代表団は田中幹夫氏が率いており、「日本語と日本文化の交流」をテーマとしたプログラムの一環です。今回の訪問は、日本、ASEAN加盟国、アジア太平洋諸国間の連帯と相互理解を深める重要な機会となりました。

2024 12 05

首相、経済活性化のため閣僚の役割を変更



出典：[PM rejigs senior ministers' roles to boost economy](#)

カンボジアのフン・マネット首相は、国家経済の活性化を目的として、副首相の役割と責任を見直しました。この見直しにより、副首相兼土地管理・都市計画・建設省（MLMUPC）大臣であるセイ・サマル氏には、国家社会土地租界、国家地籍委員会、カンボジア沿岸地帯管理開発国家委員会、土地管理・都市計画国家委員会の共同議長など、いくつもの重要な役割が割り当てられました。この措置は、政府の政策実行力をさらに高め、国家発展を加速させることを目的としています。

2024 12 04

直接投資流入額、1年で81億ドルに達する



出典：[FDI inflows hit \\$8.1B in one year](#)

カンボジアの外国直接投資（FDI）流入額は、2023年9月から2024年9月の間に81億ドルに達しました。この増加は、成長志向の政策と安定した経済状況に対する国際的な信頼が強く後押しした結果とされています。主なFDIの流入元は中国で、これに韓国、シンガポール、日本、ベトナム、マレーシア、タイ、カナダ、英国が続きました。カンボジアのアウン・ポンモニロス副首相は、「カンボジアはこの地域で急成長する投資先としての地位を確立した」と述べ、今後のさらなる投資拡大への期待を示しました。

株式会社GCCジャパン
〒107-0062 東京都港区南青山2-23-8
外苑ビル8階
TEL:03-5927-1882
E-mail: central@gccjapan.co.jp

